

# 一般質問

一般質問とは、議員が市の施策の状況などについて質問することです。

第2回定例会では、

6月11日、13日、14日の3日間にわたり

16人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁内容は、6月時点のものです。



《Q》妊娠・出産・子育て家庭への支援は

《A》経済的支援の強化等、包括的に支援する



櫻沢 裕人 議員（新政会）

**妊娠・出産・子育て期の家庭  
への多面的な支援について**

**質問** 妊娠・出産・子育て家庭に対する様々な側面からの支援について、市の見解は。

**市長** 国や東京都の補助事業を活用しながら、経済的支援の強化を図るとともに、関係機関や関係団体の協力を得て、子供・子育て家庭を包括的に支援していく。

**質問** 子育て世帯の羽村市への移住・定住に対する経済的負担軽減のため、子育て世帯の住宅取得への補助事業や、市と住宅金融支援機構の連携による「フラット35 地域連携型」による金利引下げ制度の活用に関する。



国・都・市連携で妊娠・出産後の経済的支援策として電子カタログギフトを配付している

り組んではどうか。

**市長** 西武信用金庫は多摩西部9自治体に、それ以外の自治体から移住・定住する方向への特別金利による優遇措置を実施している。

こうした金融機関等との連携や、他の自治体における子育て世代に対する住宅取得等の支援制度の実施状況等について、調査・研究を行っている。

**質問** 一部の公園では、経年劣化等により遊具が使用禁止となり、順次撤去される。遊具の撤去後、新たな遊具の設置を検討しているか。

**市長** 新たな遊具を設置する場合はアンケートを実施している。設置には多額の費用が必要なこともあり、遊具の設置が難しい場合もある。

■その他の質問  
学校の法務相談体制の整備について



## 《Q》玉川上水を世界遺産に

### 《A》後世に引き継ぐべき貴重な遺産である



富永 訓正 議員（公明党）

#### 玉川上水を世界遺産に

東京都議会の予算特別委員会で、公明党都議が「世界遺産に向けた取組を」と質問。「さらに魅力に磨きをかけ、世界に誇る遺産として後世に継承していく」との答弁があった。

**質問** 玉川上水の起点である羽村市が主導し、市内外での機運醸成や関係団体等と連携し世界遺産への取組を開始すべきでは。

**教育長** 市にとっても、流域自治体にとっても後世に引き継ぐべき貴重な遺産である。東京都、流域自治体、市民団体等の動向を注視し、他自治体等と歩調を合わせしていくことが望ましい。



玉川上水の起点であり、土木学会選奨土木遺産に認定された羽村取水堰（投渡堰）周辺

#### 認知症の方に寄り添う「ユマニチュード」への取組みを

**質問** 介護のケア技法として積極的周知や認知症サポーター養成講座等で取入れを。

**市長** 市の認知症の取組みはユマニチュードの趣旨と同様である。引き続き住み慣れた地域で自分らしく豊かな暮らしを送れるまちづくりを進める。

#### 地域での健康メニューへの取組み推進を

**質問** 市内飲食店等へ、メニュー開発の協力や栄養成分表示店としての紹介等を行い、利用促進と市の健康づくりと連携した外食や中食の充実への取組みを。

**市長** 東京都が実施している「あなたの町の野菜メニュー店」への登録を市内の飲食店に働きかけ、広く周知し、健康増進と市内飲食店の利用促進につなげる。

※ユマニチュード：フランス発祥の認知症のケア技法。「あなたを大切に思っている」ことを伝え、認知症の方の尊厳を重視するもの。



## 《Q》市民参画で将来の教育を考える組織創設を

### 《A》広く市民の意見を聞く機会を検討している



石居 尚郎 議員（公明党）

#### 人口減少とこれからの教育・子育てについて

教育委員会は、児童・生徒数が大きく減少していく推計を踏まえつつ、小・中学校の再編を検討していくとした。

**質問** 市民も参画して、将来の教育を検討する組織を創設してはどうか。

**教育長** 広く市民の意見を伺う機会を設けることも、検討していく。

**質問** 今後のPTAの在り方と、これに地域住民を加えた新たなPTCA等の考えは。

**教育長** 今後、コミュニティ・スクール委員会を中心に、保護者や地域の方々



教育委員会が示した「これからの羽村市立学校の在り方について」と「児童・生徒数の実績と推計」

も学校運営に関わってもらうことで、従来のPTAの機能を補完するだけでなく、多彩で充実した教育活動を実現することが可能となる。

教育委員会は、各コミュニティ・スクールの運営を支援し、家庭及び地域が力を合わせて羽村の子供たちを育てていく気運を醸成していく。

#### フレッシュランド西多摩の改修工事の市への影響について

**質問** 工事完成までの期間でも、青梅市の「梅の湯」等の利用料助成はできないか。

**市長** 新たに実施する考えはない。

**質問** 改修計画で凍結となったが、ドッグラン設置は推進すべきではないか。

**市長** ドッグランなどの付帯設備は、改めて実施時期等について、検討されると捉えている。



## 《Q》個人情報等、窓口での聞こえづらい方への配慮は

### 《A》筆談や相談スペース等でお話を伺っている

金子 ひとみ 議員（公明党）



**聴覚障害及び聞こえづらい方への支援策について**

**質問** 令和3年から始まった、聞こえない人と聞こえる人の架け橋になる、一般財団法人日本財団電話リレーサービスの周知は。

**市長** 市公式サイトで情報提供を行っている。

**質問** 奈良県立医科大学、細井学長が発見した「軟骨伝導」のイヤホンを市役所窓口を導入しては。

**市長** 機能が類似した簡易集音器を設置している。現時点では導入の考えはない。

**質問** 聞こえづらい方に個人情報等を窓口で伝える際の配慮は。

**市長** 筆談に加え、相談スペースや別室でお話を伺うなどの対応をしている。

#### 指定喫煙場所の

#### 在り方について

**質問** 各駅の指定喫煙場所でのたばこを吸う方、吸わない両面での配慮は。

**市長** 人が多く集まる駅周辺に路上喫煙禁止地区を指

定。喫煙者にはコンテナ型やパーテーション型の喫煙場所を指定することで分煙化を図っている。

#### 女性の視点からの

#### 防災対策を

**質問** 断水時にも使用でき、安全性のあるトイレトレーラーの導入を。

**市長** 災害時相互応援協定を締結している山梨県北杜市で導入しており、災害時には派遣いただけることを確認している。市としての導入には課題があり、マンホールトイレの整備や携帯トイレの備蓄等に取り組んでいく。



災害時に派遣いただく協定を結んでいる北杜市のトイレトレーラー



## 《Q》避難所の空き状況が分かるようデジタル化を

### 《A》導入自治体へヒアリングし、調査研究していく

中嶋 勝 議員（公明党）



**在宅避難と早期生活再建への取組みについて**

能登半島地震の教訓から改めて避難のあり方を問う。  
**質問** 災害発生時、在宅避難が可能かどうかの判断基準はあるか。

**市長** 明確な基準はないが、家屋の倒壊などの危険がないことが確認できれば在宅避難を推奨している。

**質問** 避難所の空き状況が分かるよう、デジタル化を。  
**市長** 導入自治体へヒアリングし、調査研究していく。

**質問** 一時避難の方法の一つとして、地域会館の利用も検討してはどうか。

**市長** 避難所が不足する場合は可能としている。

**質問** 在宅避難の場合、支援物資の受け取り方法は。

**市長** 最寄りの避難所へ届け出ただく。支援物資が必要な際は、避難所へ受け取りに来ていただく。

#### 羽村市LINE公式アカウントの活用促進について

新たに開設したLINE



LINEの登録方法は市公式YouTubeチャンネルで公開している

公式アカウントは、コミュニケーションツールとして最適かつ、利便性、汎用性が高い。メニューの追加で市民サービスの向上を望む。  
**質問** 道路や公園等の不具合を通報するシステムを導入してはどうか。  
**市長** 先行自治体から課題等調査研究していく。  
**質問** ポイント発行事業や市民の相談対応等にも活用してはどうか。  
**市長** 全庁挙げて情報収集し、機能の拡充へ積極的に取り組んでいく。

■その他の質問  
「能登半島地震」被災地へのさらなる支援を





## 《Q》道路改修が総延長の6%のみの計画だが

## 《A》改修路線は優先順位を付し選定している



高田 和登 議員（新政会）



市道の改修前(左)と改修後(右)

**羽村市道路整備計画について**  
**質問** 市道の総延長は約15.5kmだが、羽村市道路整備計画での10年間の改修予定は9351mである。総延長のわずか6%にすぎないが見解は。  
**市長** 改修路線は路面の劣化状況・緊急性・必要性及び工事規模のほか、市民の皆さまの要望を勘案し、優先順位を付し選定している。  
**質問** 計画に路線ごとの舗装完了期限が明記されていない。明記した計画を補足版として策定すべきではないか。  
**市長** 毎年度、道路改修予定路線を抽出している。そのため、あらかじめ、路線ごとに工事完了期限は明記

していない。

## 市環境への取組みについて

**質問** 第二次環境とみどりの基本計画の基本理念は10年前の第一次のものと同じである。見直しを求める意見はなかったか。  
**市長** 環境審議会で見直しを求める意見はなく、了承された。

**質問** 「ミニ環境展」の規模を拡大する考えはないか。  
**市長** 今後も充実を図っていく。

**質問** 従来、大規模に実施していた「環境フェスティバル」を「はむら市民と産業のまつり」の中で開催した。市民の環境への意識の低下が懸念される。見解は。  
**市長** 環境問題に関心のない方も関心を持てるよう実施した。引き続き、環境学習や活動の機会を充実し、広報はむらなどの広報媒体を通じて環境に関する情報発信を行う。



## 《Q》桜並木の再生についてどのように考えているか

## 《A》管理や再生については東京都水道局が対応する



秋山 義徳 議員（新政会）



再生が望まれる羽村堰の桜並木

**羽村堰周辺の観光政策について**  
**質問** 「はむら花と水のまつり」の会場が変更になったことについて市民の声は。  
**市長** 今年の開催に当たり、「羽村堰では開催していないのか」といった問い合わせが数件あった。  
**質問** 桜並木が老木化や害虫被害による倒木の危険回避のため会場が移された。桜並木の再生についてどのように考えているか。  
**市長** 羽村堰を含む玉川上水は、東京都の水道施設である。敷地内の桜並木の管理や再生は、東京都水道局が対応している。平成27年度を始期とする「玉川上水

路サクラ更新計画」が、令和2年度に完了したため、

現在、桜の更新に関する計画はなく、今後については、樹木診断等を行った上で判断していくと聞いている。

## 市道第101・102号線（市役所通り）の改修について

**質問** 市役所通りの改修について、市は今後どのように進める考えか。  
**市長** 市役所通りの再整備は、施工期間が10年以上の長期に渡ることが想定され、多額の事業費が必要となる。新たな特定財源確保のため、関係機関と調整を行っている。今後の更なる超高齢社会を見据えたバリアフリー化や景観にも配慮し、維持管理が容易な道路環境となるよう、具現化に向けた検討を進めていく。



## 《Q》介護ヘルパーの確保の対策をどう行っているか

### 《A》研修費の補助・研修会の開催で確保・育成を支援



浜中 順 議員（日本共産党）

**高齢者の暮らしを守るために**

超高齢社会を迎えている中で、全国的にも介護人材の不足が大きな課題となっている。

**質問** 介護ヘルパーの確保対策は。

**市長** 介護人材初任者研修等の経費の一部補助や、ケアマネジャー・介護支援専門員の専門研修の開催など、介護人材の確保・育成を支援している。

**質問** 運営経験等を学び合える各介護サービス事業所間の交流会が望まれている。どう考えるか。

**市長** 各事業所が自発的に設定することが最も効果的である。市は引き続き側面から支援を行う。



市内の訪問介護事業所

**身近な公共施設の修繕は早急に**

羽村駅東口の男子トイレの便器や公園の遊具・運動設備など、故障で使用不能なものがある。修繕を望む声を受け、さまざま質問した。

**質問** 「歩道の街路樹の根上がり改善してほしい」との声が多くある。修繕をどう行っているのか。

**市長** 損傷箇所の状態を確認し、順次改善に向けて取り組んでいく。

**羽村市でも来年度からは**

**小・中学校の給食費無償化を**

**質問** 保護者や子供たちの願いを受け、来年度の無償化実現に向け積極的に検討・実現を。

**市長** 多額の一般財源を必要とする事業を継続的に実施することは、現在の市の財政状況では非常に厳しい。国の動向を注視していく。



## 《Q》高校を中退した生徒の受け皿となるのは

### 《A》子ども家庭支援センターである



菅 勇真 議員（双葉会）

**羽村市の教育について**

**質問** 高校を中退した生徒の受け皿となるのはどこか。

**市長** 子ども家庭支援センターにおいて、高校在学者及び中途退学者の相談も受けている。

**質問** 支援場所に行かない不登校の在宅児童・生徒の状況を把握し、対応できているのか。

**教育長** 支援場所としての校内別室指導や適応指導教室、フリースクール等へ通っていない児童・生徒に対しては、学級担任等が定期的に家庭訪問を行う。そこで把握した状況を学年や校内支援委員会等で情報を共有し、組織的な支援につな



市役所2階にある子ども家庭支援センター

げている。

**質問** 19歳以上で引きこもりの方への進学、就労等の支援の方策は。

**市長** 相談に訪れた方の思いを丁寧に聞き取り、その上で「東京都ひきこもりサポートネット」などの関係機関につなぎ、連携した支援に取り組んでいる。

**市民の声について**

**質問** 公園の管理について、指定管理者への指導等は行われているのか。

**市長** 維持管理に関する情報は、担当部署と指定管理者双方において常に最新の情報を共有しており、必要に応じて指導や助言を行っている。

**質問** 市役所の屋の休憩時間における窓口対応はどのように行われているのか。

**市長** 職員が休憩時間をずらして取得することにより、窓口を閉めることなく業務を継続している。





## 《Q》国の指示権拡大の自治法改正への考えは

《A》指示には一定の制約があるものと認識している



馳平 耕三 議員（令和かがやき）

### 国や東京都と羽村市の 分権の在り方を問う

**質問** 国の地方自治体への指示権を拡大する地方自治法の改正案への考えは。指示権の及ぶ範囲が広く、閣議決定だけで発動できる内容に危惧はないか。

**市長** 国の地方公共団体に対する補充的な指示は、地方公共団体の意向を無視して一方的に行われることがないよう一定の制約がある」と認識している。

**質問** 国は所得税の定額減税を給与明細に明記するよう求めている。職員の負担増やシステム改修などの対応は。また、市内の民間企業はどうか。



改正地方自治法は6月19日に参議院本会議で可決・成立した

**市長** 準備期間が短い中、職員等への周知やシステム

改修など必要な対応を行っている。市内企業へは、必要に応じて市商工会が説明を行っている」と聞いている。

**質問** 小池都知事は、給食費の半額補助や18歳までの医療費助成を打ち出したが事前に相談はあったか。

**市長** 自治体への説明や意見交換の場は無かった。

**横田基地日米友好祭の戦闘機の飛来は友好の域を超えていないか**

**質問** 友好祭で、戦闘機が市上空を何度も飛来し、市民生活を脅かすものだった。今後の市の対応は。

**市長** 毎年度、戦闘機の離着陸を行わないことを米軍と国に要請している。引き続き東京都及び基地周辺5市1町で連携していく。

■その他の質問  
マイナンバーカードの安全性、マイナ保険証の利用率の低さを問う／ギャンブル等依存症対策を急げ



## 《Q》補聴器の助成金を実施すべきではないか

《A》国、都、周辺自治体の動向を注視する



鈴木 拓也 議員（日本共産党）

### 補聴器助成金を 羽村市でもはじめよう

**質問** 東京都内の補聴器購入助成金の実施状況は。

**市長** 昨年度では、23自治体を実施している。

**質問** 東京都は、2026年度までに、都内での完全実施を目指している。羽村市もいち早く実施すべきではないか。

**市長** 国、東京都、周辺自治体の動向を注視していく。重要土地利用規制法によって、市民生活への悪影響は生じないか

安全保障上重要な施設の「機能を阻害する行為」がみとめられた場合、土地利用者に勧告・命令・罰則を



高齢者を対象とした補聴器助成の実施を

課す法律が施行され、横田基地周辺が指定された。

**質問** 基地反対運動や、市内事業者の活動に制限が課されるケースもあるのか。

**市長** 個別具体的な事情に応じて適切に判断されると認識している。

**小中学校の再編は、納得と合意のもとに進めるべき**

**質問** 国が示す基準に基づき試算すると、2035年には小学校5校・中学校2校3校となる。なぜ、小学校3校・中学校2校と、より学校数が少ない姿を目指すとしたのか。

**教育長** 国が示す標準に従った場合、10年程度の間隔で見直しを繰り返す状況が想定される。これを避けるため、あらかじめ大きな規模で学校を再編することができるよう適正規模を設定した。

